

災害伝承の取組事例 広島市立戸山中学校

概要

(1) 実施日

令和4年7月1日(金), 7月13日(水)

(2) 対象者

広島市立戸山中学校(1年生)

(3) 内容

- ・土砂災害について講義
- ・昭和26年ルース台風など過去の災害について
- ・平成11年6.29豪雨災害(戸山地区)の被害
- ・砂防堰堤等の防災施設の見学

戸山探検(遠足を活用した防災教育)
過去の被災状況を子供達に伝える
砂防ダム等の現地見学

地域全体
での伝承
の取組

戸山体験で学んだことの成果を
文化祭(10月)で発表
(保護者参観)

「地域の砂防情報アーカイブ」に登録されている地域の災害記録



平成11年6月29日豪雨災害の記録

昭和26年ルース台風の記録

授業の様子7/1



地域の防災施設を見学7/13



【文化祭での学習成果の発表】～地域ぐるみでの災害伝承



・令和4年10月22日(土)
戸山小学校・戸山中学校合同
文化祭「とやまっ子文化祭」

・中学1年生が防災についていろいろ
な角度から学習し、もし災害が起きた
とき、自分たちにはできることは何かを
考え、発表。

広島市立戸山小中一貫教育校 戸山小中だより とやまっ子文化祭特集号
令和4年10月26日
<http://cms.edu.city.hiroshima.jp/weblog/files/e0966/doc/88020/2256759.pdf>

生徒の感想

- 避難をする時には、率先して、近所の人と一緒に避難したい。
- 今回の話は、家に帰って、親や兄弟にも話したいと思った。
- もっと土砂災害について調べて友達と話してみたいです。
- 災害がおこった時には、どう行動すればいいかもわかった。